

平成29年7月7日
国土交通省九州地方整備局
筑後川ダム統合管理事務所

【速報】 7月5～6日の大雨における
松原ダム及び、下笠ダム防災操作の効果について

松原ダム及び、下笠ダムでは、7月6日に防災操作を行いました。
両ダムへ流れてくる水量の一部をダムへ貯めることで、ダム下流へ流す水量を最大で約3割低減しました。
これにより、ダム下流の小湊^{こぶち}水位観測所地点において、河川の水位を約24センチメートル低下させる効果があったと推測されます。

・松原、下笠の両ダムでは、6日5時00分に882m³/sの流入があり、そのうち、251m³/sを貯留して631m³/sを流し、下流の浸水を緩和しました。

^{なかばる}
・中原雨量観測所の総雨量：405mm（4日7時～6日8時）

^{なかばる}
・中原雨量観測所の最大1時間雨量：53mm（5日22時～23時）

※観測所所在地

^{こぶち}
・小湊水位観測所：大分県日田市若宮町地先

^{なかばる}
・中原雨量観測所：熊本県阿蘇郡南小国町中原字原地先

・今後も梅雨前線に伴う降雨が予想されますので、防災体制を継続します。

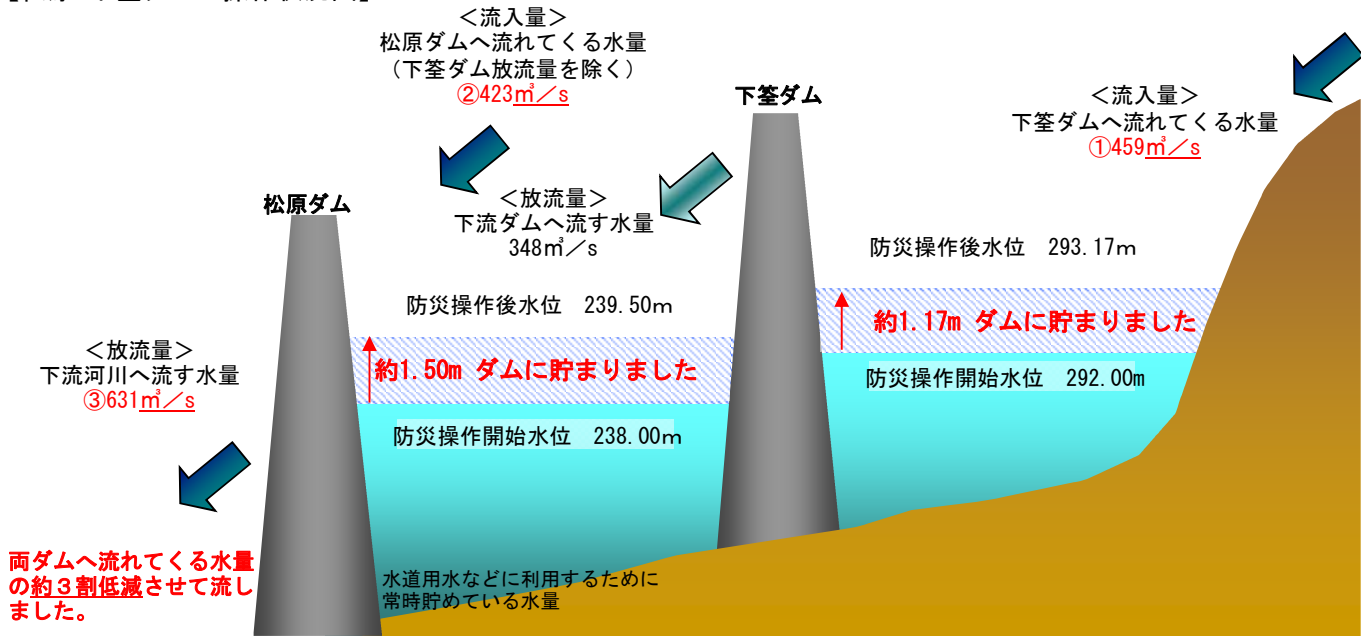
筑後川ダム統合管理事務所HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/toukan/>

問い合わせ先：国土交通省 筑後川ダム統合管理事務所

・技術副所長 志賀 三智 ・管理課長 植西 清

電話：0942-39-6651（代） FAX：0942-35-8242

【松原・下釜ダムの操作状況図】



< 約3割 ≙ 1 - ③ ÷ (① + ②) >

※ 観測値は暫定値のため、確定値ではありません。

【松原・下釜ダムの効果】

